



会報

# いきいき

IKIKI



清掃ボランティア活動 11月11日・甲斐市立竜王小学校（関連記事2ページ）

## 主な内容 -CONTENTS-

- ▶ 平成29年度地区会議開催……………P.2
- ▶ 事故の発生状況・入間東部SC来訪……………P.3
- ▶ 各種講習会……………P.4
- ▶ 普及啓発活動・職群班訪問……………P.5
- ▶ お客様からひとこと・私たちの奮闘記……………P.6
- ▶ 会員のひろば・甲斐路（ふるさとの民話） ……P.7
- ▶ 事務局からのお知らせ……………P.8

公益社団法人

峡中広域シルバー人材センター

〒400-0115 山梨県甲斐市篠原2644番地3  
 Tel 055-279-6626  
 Fax 055-279-6620  
<http://www.kyochu-sjc.jp/>  
 E-mail: kyochu@sjc.ne.jp

会員数 784人（男性 548人・女性 236人）

—平成30年3月1日現在—



事務局の説明に熱心に耳を傾ける出席者の皆さん＝双葉公民館

平成29年度

# 地区会議

この地区会議は、センターの活動状況の報告や会員相互の情報交換の場として、今後の事業運営に活かして行くことを目的に各地区

平成29年度の地区会議が、2月1日の敷島から2月16日の昭和まで2市1町の12地区が5会場に分かれて開催されました。事務局から事業運営状況や事故内容の報告のほか、30年度は役員の改選期に当たるため、各地区推薦の会員理事候補者の承認、地域班長や女性部幹事の選出などがあり、会員への理解と協力が要請されました。

の理事や班長が中心となつて毎年開催されており、甲斐市は竜王、敷島、双葉の各地区、中央市は玉穂、田富、豊富地区の合同、昭和町は東西合同で開催されました。会議では、まず事務局から平成29年度のセンター事業の運営状況や事故の発生状況などについて報告があり、運営状況では、不透明な経済情勢や企業の雇用延長なども背景にあつて、就業開拓、会員拡大とも難しい状況にあり、契約実績は、一般家庭を中心に植木剪定作業の受注が増加したものの、公共・企業とも緑地管理や施設管理の契約中止や除草作業の依頼減少などを受け、受注額が減少しているなどの説明がありました。事故発生状況では、ここ数年、減少傾向にはあるものの、今年度



あいさつする新役員の皆さん＝玉穂総合会館

も草刈作業などでの損害賠償事故が後を絶たないことから、改めて注意が呼びかけられました。また、新年度に向けての役員改選で、会員理事候補者の地区推薦の承認のほか、地域班長や女性部幹事が選出されました。また、この後、連絡員の紹介や親睦活動などの報告、女性部から講習会への案内がありました。参加した会員は、事務局の説明などに熱心に耳を傾けていましたが、地区会議への参加率は4割ほどと低い状況にあります。「自主・自立」「共働・共助」を基本理念とする会員組織であるので、より大勢の会員の参加による一層活発な地区活動が望まれています。

## 甲斐市管内小学校で 清掃ボランティア活動

当センターの甲斐市各地区会員が昨年11月、市内の小学校で清掃ボランティア活動を行いました。センターの年間事業計画に位置付けられている社会参加活動の一環として今年から始めたもので、今年度は敷島北小学校、竜王小学校、双葉東小学校に、それぞれの地区の会員が参加し実施しました。集まった会員は、校庭の落ち葉掃きや除草作業、グラウンド整備や窓ふきなど、地域の児童たちのために、それぞれ約一時間の奉仕活動に汗を流していました。



グラウンド整備する参加者＝11月4日・敷島北小学校

事故発生件数 平成30年2月末日現在

年度	会員数 (人)	就業 実人員 (人)	事故発生件数			合計
			傷害事故		損害 事故	
			途上	就業中		
26	840	709	0	3	8	11
27	818	698	0	5	2	7
28	831	674	0	1	4	5
29	779	677	0	8	4	12

平成29年度の傷害事故

事故種別	事故の内容	件数
転倒	屋内清掃中に濡れた床で滑って転倒し骨折	1
	浴室を清掃中に滑って転倒し骨盤を骨折	1
蜂刺症	植木伐採中に足長蜂で手の数力所を刺傷	1
車両事故	ペダルの踏み違いにより店舗に突入し擦傷	1
	信号待ちのところ後方から追突され頸椎負傷	1
転落	軽トラックの荷台から転落し腰を圧迫骨折	1
	剪定中に脚立から転落し右手の親指を骨折	1
滑動	芝生斜面で作業中に足が滑り右膝を負傷	1
計		8

平成29年度の損害事故

事故種別	事故の内容	件数
芝刈作業	芝刈機の飛石により住宅の窓ガラスを破損	1
抜根作業	垣根の抜根作業中に地中ケーブルを切断	1
除草作業	除草の刈払機の飛石で住宅のガラス戸を破損	1
運搬作業	台車で運搬作業中にガラス戸に接触し破損	1
計		4

作業前の安全確認

を今年度の事故発生状況

ここ数年、当センターの会員による就業中の事故発生件数は減少傾向にありましたが、平成29年度の発生状況は、2月未までで傷害事故8件、損害事故4件の計12件と3年ぶりに増加しています。傷害事故の内容については、施設内の清掃作業中に転倒して骨折した事故が2件、植木の手入れ作業に関連する事故が4件、車両事故ではペダルの踏み間違いで店舗に突入した事故と信号待ちで追突

された事故の2件発生しました。損害事故については、除草作業中の刈払機による飛び石での事故が2件、植木の手入れ中の事故が1件、運搬中の台車によるガラス戸の破損が1件発生しています。傷害事故8件は、昨年の1件から7件の増加、損害事故4件は、昨年と同伴数ですが、就業前にきちんと安全確認を行うことで防げる事故がほとんどです。就業に当たるときは、まず自分

身の身を守る安全対策をしつかり行うこと、また、周囲の状況をよく確認してから作業に入るなど、基本に沿った就業姿勢が重要です。就業現場では「安全は全てに優先する」ことを再認識し、全ての会員が事故ゼロを目指して、今後も作業前や作業時の安全確認の徹底に心掛けましょう。

埼玉県・入間東部SC  
役員研修で来訪

昨年10月17日、埼玉県の入間東部シルバー人材センターの役員25人が、役員研修で当センターを訪れました。

入間東部SCは、平成28年4月に埼玉県の南東部に位置する富士見市、ふじみ野市、三芳町の三つのシルバー人材センターが合併して誕生した広域センターで、28年度の契約額は約11億4千万円、会員数も2千人以上を抱える大規模センターとなっています。

広域のセンターとして早くから運営している当センターの取り組みについて参考にしたとのこと、具体的な内容として、①広域センターの運営、②地区会議の開

催状況、③植木剪定講習会の取り組み、④介護予防・日常生活支援総合事業、⑤コスモス花見会の開催について研修を進めました。

特に広域センターの運営については、勝村事務局長から「当センターは設立からの広域であり、構成市町の協力を頂きながら経営も概ね順調に推移している。課題とすれば、地区のエリアを越えた会員の就業調整が挙げられる」などの説明があったほか、出席者は活発な意見交換を行いました。

今回の研修は当センターにも参考になることが多く、今後の運営に活かして行きたいと思っております。



歓迎のあいさつをする高橋理事＝竜王北部公民館

## 各種講習会

### 新人育成をめざして 植木剪定作業講習会

昨年7月11日と12日、10月11日と12日の前期・後期に分け、甲斐市の竜王北部公民館と敷島総合公園で植木剪定作業講習会が開催され、会員2人と公募による一般9人の計11人が受講しました。

植木の技能教育実施要綱に沿って初めて4日間で開催されたもので、前期では、畠中理事による接遇講話のほか、元県立峡南高等技術専門学校講師の岩間孝夫先生、敷島と田富植木班の深沢・鈴木両リーダーの指導により、剪定の基礎知識や安全対策としてのヘルメ



講師の岩間先生(中央)から松の手入れの指導を受ける受講者のみなさん=敷島総合公園

ットの着用、脚立の固定や道具の適切な取扱いを学んだほか、低木の刈込の実技を、また後期では、中木の剪定や枝抜き、松の芽摘みや剪定までの実習を行い、受講者は熱心に取り組んでいました。

### アクリルたわしづくり 女性対象手芸講習会



カラフルなアクリル毛糸を使ってたわしづくりに取り組む参加者=竜王北部公民館

昨年11月29日、甲斐市の竜王北部公民館で「アクリルたわし作り」の講習会が開催され、女性会員23人が参加しました。

参加者は、手芸部の講師から丁寧な作り方の指導を受けながら、持ち寄った色とりどりのアクリル毛糸を使って、かわいい洋服型のたわしを編んでいきました。和気あいあいと歓談しながら作

業を進め、出来上がった作品を見て「もう少し大きく作るとワンちゃんの洋服にもなるね」と笑顔で話す声も聞こえていました。

### 公共施設就業説明会 と接遇講習会

平成30年度の公共施設での配置について、昨年末に就業説明会と接遇講習会が開催され、甲斐市では12月5日と13日の2日間で278人、中央市では12月6日と12日の両日で81人の会員の出席がありました。

始めに、畠中理事から就業上の実情に合わせた利用者への接遇方法などを学んだ後、担当職員から就業上の注意点やコンプライアンスのほか、就業先の具体的な内容



就業内容についての職員の説明に真剣に耳を傾ける参加者=玉穂生涯学習館

の説明を受け、出席した会員は真剣に耳を傾けていました。

### 調理講習会と 家事援助情報交換会



グループに分かれて伊達巻づくりに挑戦する参加者=竜王北部公民館

正月が間近な12月12日、竜王北部公民館で調理講習会が開催され、会員14人が参加しました。実務に活かせる講習会として、

女性部の役員が講師となり、伊達巻と栗きんとんの作り方を実習しましたが、同じ料理を作ったはずが、テーブル毎に個性豊かな仕上がりに皆さん大笑い。その場で試食し、参加者はさっそく家でも挑戦してみたいと話していました。

合わせて、家事援助の情報交換会が行われ、日頃の就業について様々な意見が交わされました。

## PR活動・職群班



▲中央市ふるさとまつり=11月3日



▲昭和町ふるさとふれあい祭り=10月8日

### 普及啓発活動を展開 祭り参加や花見会開催

センターでは、受注拡大や会員増強を図れるよう随時PR活動を行っています。今年も10月の全国シルバー人材センター普及月間に合わせ、役職員を中心に各所で啓発活動を展開しました。



▲第9回コスモス花見会=10月28日

10月8日の昭和町ふるさとふれあい祭り、11月3日の中央市ふるさとまつりのイベント会場では、秋晴れのもと大勢の来場者で賑わうなか、それぞれPR用のチラシや花苗などの配布を行いました。また、10月28日に甲斐市岩森の広域農道沿いで開催されたセンター主催の第9回コスモス花見会では、あいにくの雨模様でしたが、約300人の来場者があり、センター事業や会員募集などの啓発を行いました。なお、この花見会で販売されたおにぎり・とん汁・焼いもなどの売上金で、今年も児童の登下校の安全を願い、交通安全旗66本を甲斐市、中央市、昭和町の管内各小学校へ寄贈しました。

### 職群班訪問

#### 敷島・双葉地区除草班

今回は、敷島・双葉地区の除草班を取材しました。

萩原昭さんをリーダーに、メンバーは66歳から80歳まで5人で、一般家庭の草取りが主な仕事です。4月から11月までの間、夏は朝7時半から午後3時まで、休憩を挟みながらの仕事で、寒さより夏の暑さの方が辛いとのこと。作業中に蜂の巣に出くわして、驚いたりすることもありますが、仲間とする仕事は楽しく、現場に行くのが楽しみです。



敷島・双葉地区除草班の仲の良い5人のメンバー=中央がリーダーの萩原さん

仕事の依頼を受け、現場を確認、見積りを出し、依頼主の了解を得て仕事にかかりますが、4月頃になると草の成長が早く、3週間も経つと驚くほど伸びてしまうので、見積額をどうしようか悩むこともあるとか。仕事は礼儀正しく、丁寧を心掛けています。作業前後の違いが良くわかるので、依頼主にも喜ばれたり、また自分たちでも達成感を感じるとのことです。シルバーに入って良い仲間ができ「体のためにも日々の生活にも張り合いが感謝している」と話していました。(石坂)

頑張ってます

## 奮闘記

私たちの

### 生徒の笑顔に励まされて

田富地区 栗原 省治

私は、田富中学校の給食配送業務をさせて頂いております。

業務の概要は、田富小学校の給食調理室で9人の調理員さんが調理した給食を、2トンのコンテナ車で中学校に配送して配膳し、給食終了後には、食器と残渣を回収して田富小の調理室に搬送し、調理員さんに引き渡します。

この仕事で大事なことは、何と云っても生徒の口に入る食べ物を



扱うことです。

安心な給食を届けるため、身の回りを清潔に保ち、衛生管理では洗剤での手洗い、アルコール消毒のほか、マスクを着用して作業に入ります。また、健康管理のため、

### 元気をもらってます

#### 山梨総合運輸株式会社

中央市日井阿原

弊社は、昭和38年創業以来、地元山梨を拠点として、お客様から託された製品を全国各地に輸送する業務を行い、今年で55年目を迎えました。

乗務員不足などの、昨今の運送業界を取り巻く厳しい状況を踏まえて、平成27年4月に従業員の休憩室を新設し、同年6月から、その

施設の清掃のためシルバー人材センター様から会員を派遣していただいております。

広い休憩室を手作業で清掃するのは、体力的にも負担があるのではと思いますが、いつも元気にハツラツと作業される姿を拝見して、我々の方が刺激を受け、元気をもらっているような感じが否めません。

今後も清掃を通じて弊社の業務にご協力頂きますよう、よろしくお願いいたします。

作業前には準備体操を行います。

給食の食材は限られていて予備はないので、落としたり、こぼしたりすると足りなくなります。毎日、荷姿は違いますが、荷崩れしないよう注意しながら、生徒の笑顔に励まされて頑張っています。

### 感謝の声にやりがいを

双葉地区 高橋 竹治

シルバー人材センターに会員登録して6年になります。

現在は、双葉西小学校の用務員の仕事をしています。



始めは、センターの事務所で「学校に行つて仕事をしてください」と言われ、どんな仕事をするのか不安な気持ちで一杯でしたが、学校で仕事の内容などを丁寧に説明して頂き、今ではすっかり仕事に慣れ、楽しくやっています。

就業時間は、午前9時から午後2時半までで、会員2人で交代しながら、一カ月に8日ほど働いています。

仕事の主な内容は、給食の配膳のほか、児童の安全のための校長先生の給食の食味の準備、また、空いた時間に依頼があれば雑用などの対応をしています。

先生や子どもたちから感謝の声を聞くと、この仕事をさせて頂いて良かったと、やりがいを感じます。これからも健康に留意し、仕事を続けたいと思っています。

## お客様からひとこと



# 会員のひろば

## 絵画

竜王地区  
川上 勝



川上さんの作品「富士の晩秋」

もともと絵が好きで、退職を期に油絵を始めました。半年ほど絵画教室に通い、後は自分で描きながら15年ほど経ちました。風景画が主で描き上げに2カ月、落ち着くまで1年、仕上げは二ス処理で光沢が出ます。

## 短歌

敷島地区  
宮内 春枝

日々の生活の中で、心に留まるものを、自分の言葉で歌に詠めたいと思っています。

今年こそ 決意をしたる  
三日目に ぶかぶかうかが  
バケツの水  
北風に 押されてスーパ  
花の前 福寿草が  
ウインクしてくる

## 私の健康法

お茶で気分転換  
風邪予防にも



竜王地区  
横森 高枝

十数年前になります。機会があつたらお茶を習いたいと思つていた頃、当時の竜王町の広報で茶道講座があることを知って、さっそく受講しました。

3カ月の講座が終わつた後には同好会に入れていただき、稽古を続けてきました。

日頃は、忙しく過ごしていますが、稽古の時は静かな時間が流れて、気持ちも落ち着きます。おいしいお菓子を食べて、熱いお茶を飲むとホッとします。

茶の湯の炭の匂いに懐かしさを



## 甲斐路

### ふるさとの民話

(二) 玉穂地区編

### 鳴橋のはなし

成島と中楯地区の間を流れる川幅5尺ほどの川にかかる橋を鳴橋といい、これにまつわる次の二つの話が伝わっている。

一つは、この橋のたもとにある梅ちゃん屋敷の前の家のおじいさんが、何かのきっかけで神信心するようになり、とても熱心だった。そのうち近所に病人が出ると、お祈りをして治すことも度々あつたので、人の口から口へと伝わり、病を治して欲しい人で門前は市をなした。お祈りは、病人の前に御幣をもって仁王立ちになり「ワレハ鳴橋のテントウナルゾ、本日は

感じたり、茶席に飾る花や道具、和菓子などに季節を感じられることも楽しみの一つです。普段、家でも、友だちがきた時や気分転換をしたい時は、ポットのお湯でお茶をたてて飲んでいきます。お茶を飲んでみると、風邪の予防にもなり、健康にも良いそう

です。時には、お茶の友だちとも食事に行ったり、おしゃべりしたりして元気をもらっています。稽古は、立つたり座つたり動作が多くて、足にも負担がかつたりしますが、今の健康を維持しながら、長く続けられたいいなと思つています。

だいま病魔退散セヨ、アピラ、ウン、ケン、ワカ、オンゲイヒトスジと3回言い、「カツ!!」と大声で怒鳴るのだ。そうすると見る見る病が治つたそう。もう一つは、この鳴橋に向かつて願いごとをすれば必ず叶えてくれたという話で、例えば、お客が来るので布団やお膳、お椀が必要な時にお願すれば、必ず橋の上へ揃えて貸してくれるので、大変重宝したそう。ところが、欲の深い人がいて、きちんと返さず家にしまつておくと、その品物はいつしか木の葉やワラになつていて、正直に返した人には、また貸してくれませんが、ごまかした人には二度と貸してくれなかつたそう。

# 事務局からのお知らせ

会員の皆さん、友人・知人の皆さんをお誘いください!!  
「働く意欲のあるシルバーのあなた!仲間になりませんか?」

活かしましょう!!

その技能、  
その知識、  
その経験、  
そのやる気。



シルバー人材センターは、国や

市町からの助成を受けて運営している公益社団法人で、シルバー世代にふさわしい仕事を一般家庭・民間企業・行政などからお引き受けし、会員に就業機会を提供している公共性の高い会員組織です。

甲斐市・中央市・昭和町にお住

まいの健康で働く意欲のある60歳以上で、センターの主旨に賛同いただける方なら、だれでも会員になることができます。就業や収入の保証はありませんが、ご自身の希望や能力に応じた働き方ができ現在約800人の会員がいます。

## まずは説明会にご参加を

入会するには、まずセンターを理解していただくため「入会説明会」にご参加いただいています。通常、毎月2回、センター事務

所で行っています。お電話などでお気軽にお申込みください。

## こんな仕事をしています

植木剪定、植木消毒、植木の水やり、襖・障子・網戸の張替え、宛名や賞状書き、パソコン入力、除草作業、屋内外の清掃、お墓の清掃、ポステイング、施設の管理、ショッピングカートや駐輪場整理、一般事務、家事サービス(家庭内の清掃・洗濯・アイロン掛け・布団干し・買い物・食事づくり・話し相手・通院付添い)など。

## 寄稿や情報提供をお待ちしています

シルバー人材センターの広報誌・会報「生きいき」編集委員会では、「お客様からひとこと」「私たちの奮闘記」へ寄稿や取材に協力いただける方、「会員のひろば」で紹介している会員の趣味や特技、「私の健康法」として何かに取り組んでいる方、また、「甲斐路」などのシリーズもののアイデアや耳よりの話、誌面で紹介したい記事など、広く会員の皆さんからの情報提供をお待ちしています。

## 編集後記

広報編集委員に委嘱されたのが、昨年の6月です。第42号の秋号、そして現在、第43号春号の編集と関わってみて、広報のもつ意義というものを多少なりとも感じていたところでした。

編集委員の写真担当の任についていますが、タイピングと腕前が思うようにいかず苦戦している現状です。シルバーの幅広い職種領域にも驚いています。

シルバーの登録会員は減少気味ですが、この広報編集委員会を通じ、広報の果たす役割をかみしめて編集に携わりたいと考えています。

シルバーで働く機会をいただくことは、自分自身の生きていくハリが出てくる気がします。健康でいる限り、働き続けたいと思っています。(小林)

## 編集委員

- ▽委員長 畠中久男
- ▽委員 石坂とし子・深沢積善・小林 一・矢島重男
- ▽事務局 勝村秀彦・小田切まり子

## 主な 今後の予定

### ■平成30年度定時総会■

日時 平成30年6月1日(金)  
午後1時30分開会

※開催通知を地域班長・連絡員を通じてお届けします。封筒に入っているハガキ(出欠席の届け出、欠席の場合は議決権行使書か委任状)の提出を必ずお願いします。

### ■グラウンドゴルフ大会■

日時 平成30年5月30日(水)  
午前8時30分受付開始

※シルバー事業のPR、会員と地域の皆さんとの交流の機会として行っています。一般の方も参加いただけます。詳しくは別途お知らせします。